



ながいともこ News

日本共産党北区議員団 〒114-8508 王子本町1-15-22

080-4429-6338 **ご相談はお気軽に!**

みなさんの暮らし支える区政に



第3回北区議会定例会報告

北区議会第3回定例会は10月5日に閉会しました。今定例会は2017年度の一般会計決算等を審議する決算委員会も会期中に開かれる議会日程となりました。家計に例えれば、1年間の家計の収支が、どうだったのかを話し合い、足りない部分をどう補っていくのか、この支出はもう少し抑えてもいいのではないかなどを協議していく場面ともいえるのではないかと思います。(ながいともこ)

くらし応援の提案を引き続き

日本共産党北区議員団では、2015年度から、一般会計予算について組み替え提案を行っています。2017年度の提案の中から、下記の項目が実現。

- 就学援助の入学準備金前倒し支給
- 就学援助入学準備金増額
- 学童クラブの増設と増員
- 介護予防・日常生活支援総合事業に

おける事業者への支援拡充など

実現した項目は、4年間で19項目にもなりません。引き続き、議会でこうした提案ができる権利を生かし、皆さんの暮らし応援の区政実現へと引き続き頑張ります。

また、国保・介護・後期高齢医療保険料の軽減、ひとり親・若者などへの家賃補助、コミュニティバス新規路線の計画化、給付型奨学金制度の創設などまだまだ、実現に至っていない項目もあります。財政力をどこに向けるかで、区民の暮らしをもっと、支えることができるのではないのでしょうか。

例えば、給付型奨学金の創設は2880万円で可能です。区がやる気になれば、150億円を超えて積み上がった財調基金のうち、10～20億円活用するだけでも、こうした、要望が実現できます。

高まった財政力は区民の暮らしを支えるため積極的に生かすよう求め、2017年度一般会計予算、国民健康保険事業会計、後期高齢者医療会計には反対しました。

台東区のコミュニティバス「めぐりん」を視察して



台東区のコミュニティバス「めぐりん」のお話を伺ってきました。台東区ではバス路線単体での収支というより、まちづくりを基本に、観光や福祉施策の一環としてコミュニティバスが位置づけられています。例えば、高齢者が街に出て、買い物をしていただければ健康増進や商店街振興にもつながるといった考え方です。拠点駅から地域の足をどのように補っていくのかは自治体の役割だとしています。こうした考え方などを、決算委員会でも取り上げ、コミュニティバスの新規路線計画化をもとめました。

●災害への備えを万全に

新河岸公園一帯が新たに避難場所指定されました。避難時の施錠の管理などについては「早急に検討し、鍵の開放など手続きをしていく」また、浮間水再生センターへの緊急避難協定の検討については「施設側の条件や意向を確認したうえで検討する」と答弁しました。



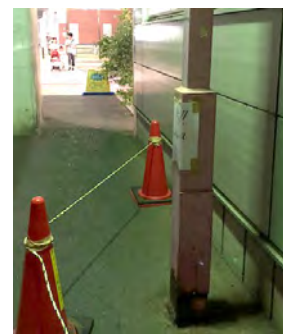
●旧西浮間小学校跡地利活用が本格化

現在、浮間中学校の仮校舎として利用されている旧西浮間小学校跡地は、暫定利用が長きに亘りましたが、来年度から本格的な利活用に向けて検討されることが明らかになりました。利活用計画策定は平成19年と、すでに10年以上が経過しています。住民意見反映の仕組みや再度利活用検討委員会の設置をもとめました。「地域説明など、どのようなことが必要なのか来年度具体的に検討する」と答弁しました。

●街灯の管理体制改善へ

赤羽南口第一駐車場に付属する街灯が倒壊の危険にあるのではないかと、私に地域の方から相談がありました。その方の通報によって、速やかに撤去がされたものの、その時点では管理責任者がだれなのか、明らかではありませんでした。

委員会の質疑で、施設管理課長から「管理は、指定管理者であるシルバー人材センターに任せています。改めて安全点検についての責任を徹底し、今後は全ての街灯に番号をふり把握するようにする」と管理体制を改善するとの答弁が得られました。



倒壊が心配された
赤羽駅南口第一駐車場
街灯、現在は撤去されて
います。

始動！

TOKYO 12 HAUS

IKEBA PROJECT

池内さおりとみんなが集まる場所作り



池内さんを応援する人や政治や社会のことに興味を持つ人が集まり交流できるプラットフォームのような場所が、赤羽志茂（北区志茂2-53-7）にできました。なにに！今度パッチワークの座布団つくりやるんだって～♪すべてのことは社会や政治につながっています。様々な企画がスタートしています！お気軽にお立ち寄りください。

